

欧州視察報告＜3＞

視 察 先 名	リエカ市議会主催意見交換会
視 察 日 時	2009年2月3日（火） 午後7時00分～9時00分
出 席 者	リエカ市議会議員：国際交流協会会長エルネスト・ツクロヴ氏 リエカ観光局局长：ペタル・スカルパ氏 リエカ市役所：タヤナ・マヴリナツ女史 リエカ在住日本人：芦垣 和代さん 通 訳：ヴァーニャ・ゼンゼロヴィッチ女史
担 当	佐々木由美子

【リエカ市議会】

ミラノを朝の9時過ぎに出発し、一路バスにてクロアチア共和国のリエカ市に向かいました。

High-wayからの風景は、頂に雪を抱いたアルプスの山々が連なりのどかな農村のなかに小さな町が点在し教会の十字架が唯一ヨーロッパを思わせるものであり、その他は日本の風景と大きく変わるものではありませんでした。



High-way から見たリエカ市内

途中、休憩・昼食を取りながら、イタリアからスロベニアに国境を越えました。互いにEU加盟国であり審査などはありませんでしたが、夕暮れ時になったこともあり、またこれから先は、一般道路となり整備状況も決して良いわけではなく、陽気な国から東欧の国へと雰囲気が変わっていったようにも感じられました。そして、クロアチアへの入国は個人個人の審査などはありませんでしたが、バストラックのチェックやどのような団体なのかと、バスのドライバーが質問を受けていました。リエカの町に着いたのは夕方6時を過ぎ、約10時間のバスの長距離移動となりました。

リエカ市議会主催での意見交換会は、2年前、川崎市を訪問された面々との嬉しい再会となりました。そして、議員であるツクロヴ氏の挨拶から始まりました。

まずは、2007年川崎市訪問時のお礼から始まり、32年前、川崎市との友好姉妹都市になった調印式にも出席されていたとのこと。氏の年齢と重ね合わせ、両市において、長い時間が経過していることを述べられ、今後もどのように交流を図れば良いのか、共に考える必要がある。川崎市には、産学公民の連携の「神奈川サイエンスパーク」などの事例もあり、リエカ市でも参考にしながら、交流を深めたい。と結ばれました。

また、川崎市議会海外視察団団長からは、2007年に川崎市でリエカのみなさんとお会いし、友好を深めるために、是非リエカ市を訪問したかった。今後は、文化や科学などを通じて友好を図っていきましょう。と挨拶を結び、夕刻の懇談会となった。



挨拶されるツクロヴ氏。
髪が黒い時に友好都市の調印式があった。
と当時の話もあった。
隣は日本の映画や文化を学んでいた通訳の
ヴァーニャさん。



鎗木視察団長のあいさつ



於：グランドホテルボナヴィア カモヴレストラ